

立檜 ~習慣は力なり~

旭川永嶺高校
進路指導部通信
令和6年2月22日
1, 2年次版第10号
(文責 高橋)

今年度最後の考査のできはどうか？ テストが終わりホッとしていると思います。

3月1日には卒業式があります。5日には高校入試があり翌日は採点日です。入試に伴う休みがあります。3年生は今週25日に国公立前期日程試験、3月8日には公立中期、12日には国公立後期日程試験が行われます。みなさんには1年後2年後のことを想像して学校生活・学習を見つめなおし春休みを迎えてほしいです。例えば1・2月に実施の模試を利用してこれまでの学習を振り返りましょう。模試は「現時点での学力がどのくらい定着しているのかを測るものです。この時期のつまずきは今後の学習にも大きく影響します。解けなかった問題で弱点教科や分野を認識し、春休みに向けて学習計画を立て弱点を克服してください。休みが多くなるこの時期、授業はそんなに進みません。遅れを挽回する大きなチャンスです。しかし、せっかく積み重ねてきた「貯金」がゼロになるのもこの時期です。家庭学習をしなくなり、生活習慣が乱れることのないようにしましょう。



並行して3月10日のスタディーサポートに向けてしっかり準備してください。そして これからの進路のカギとなる教科については次年度を意識して授業に臨んでください。文系選択者は国・英・社、理系は数・英・理の学習をメインに弱点を克服しましょう。進級後を見据えた学習習慣を休み中に確立し有意義に過ごしてください。

3月11日に「先輩と語る会」が開催されます。「国公立大学理系」「私立大学文系」「短期大学」「看護系」「専門学校」「公務員」の道に進路決定した3年生の先輩が君たちに講演をしてくれます。いろいろな話が聞けるので具体的な進路対策のイメージづくりができます。昨年の例では皆さん口をそろえて言っていたのが早めの準備をすべきだったということです。好スタートを切るためには今の時期何に取り組んでいるべきなのかしっかりと聞いて理解し考えてください。1月から何もしてこなかった2年生は2ヵ月遅れをとっていることを認識し危機感を持ちこの時期を充実したものにしてほしいです。

スタディーサポート事前準備 これだけは！

スタディーチャージ表紙のQRコード読取で確認

学力・学習の診断書として本校ではスタディサポートを実施しています。模試は進路目標に向けた「全国レベルの練習試合」であるのに対して、スタサポは「最適なトレーニングメニューを考えるための体力測定」のようなものです。同じ学力でも教科・分野の得意不得意は人それぞれです。同様に「学習」面の良いところや改善できるポイントも人それぞれです。スタサポは一人ひとりの状況に合わせて学びをサポートするテストです。しっかりと取り組むことで自分の伸ばしていくところ、改善できるところが確認できます。

活用 BOOK3 ステップで確認！

目標正解率を決める

P5

目指したい学力レベルをもとにスタディーチャージの目標正解率を決める

スタディーチャージを解く

巻末 P4 ~

それぞれの問題の難易度目安も参考にする

学習優先順位を考える

巻末 P2 ~ 3

スタディーチャージの結果と目標を照らし合わせて強化すべき教科と単元を考える

国の奨学金について（返済の方法）

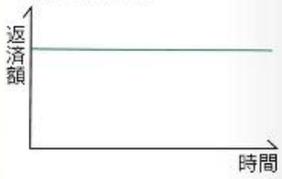
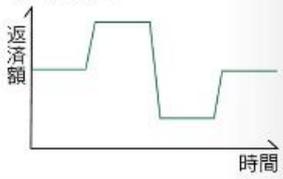
学費の高額化が進み 奨学金を利用する学生は約半数ともいわれます。（支援の対象となる学校か確認しよう）最も多く利用されている奨学金は国の「貸与型」です。大学進学の場合は卒業後の返済期間は長ければ20年にもなります。今回は返済方法についての情報です。校内「大学等奨学生予約採用」申込み説明会は毎年4月下旬に行われています。

日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金

	第一種(利子なし)	第二種(利子あり)
貸与月額	2万~6.4万円	2万~12万円
1人当たり平均貸与総額	216万円	337万円
貸与人数	47.3万人	68.6万人

(注)採用には学力・家計基準がある。第一種は学校の種類や通学形態などで貸与月額が定められている。貸与人数は2021年度で大学生以外を含む、一種と二種の両方を借りる人もいる。1人当たり平均貸与総額は22年3月の貸与終了者(大学)

奨学金の返済方法は2種類

名称	定額返還	所得連動返還
概要	<ul style="list-style-type: none"> 返済完了まで返す月額が同じ 借りた総額で返済期間、月額が自動的に決まる 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の返済額を毎年見直し 前年の所得に応じて返済月額、期間を調整 
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 第二種の方は定額返還のみ 失職など急な所得減で負担感強く 	<ul style="list-style-type: none"> 第一種で機関保証を選んだ人のみ利用可能 低所得が続くと返済期間が長くなる 減額返還は利用できない

第二種奨学金を4年間利用した場合の返済額(定額返還)

貸与月額	(貸与総額)	返済月額 × 返済期間 = (返済総額)
5万円	(240万円)	1.4万円 × 15年 = (257.8万円)
8万円	(384万円)	1.7万円 × 20年 = (421.6万円)
10万円	(480万円)	2.1万円 × 20年 = (527.0万円)
12万円	(576万円)	2.6万円 × 20年 = (632.4万円)

(注)2023年3月貸与終了者の利率(利率固定方式、0.905%)、端数は最終回で調整する。小数点第2位以下は切り捨て

Q：国の奨学金とは？

A：日本学生支援機構（JASSO）が運営。返済が必要な「貸与型」と、返済が不要な「給付型」があり、利用者の大半は貸与型。貸与型には利子につかない「第一種」と利子がつく「第二種」がある。それぞれ設定された範囲内から学生側が毎月の貸与額を決める。

Q:返済はいつから

A:貸与型の返済は貸与終了後7ヵ月目に始まる。3月に大学を卒業する人は10月から開始。返済期間と返済額は、学生時代に借りた総額に応じて自動的に決まる。返済期間は通常9~20年。大学4年間利用した場合、2022年3月に貸与が終了した人の平均貸与総額は第一種が216万円、第二種は337万円でした。毎月の返済は1万5000円程度が多いようです。

Q：決められた額を毎月返す？

A:基本はそうです。返済総額のうち半分を毎月均等に返し、残り半分を賞与が出た後の1月、7月に上乗せして返済する方法も選べる。利子のない第一種で保証機関の保証を受けた人（機関保証制度とは 連帯保証人や保証人を立てるのではなく 一定の保証料を支払

うことで、自分の意志と責任において奨学金の申し込みができる制度です。）は「所得連動返済」も選択可。毎月の返済額を前年の所得に応じて毎年見直すので返済期間も変わる。

Q:第二種の返済ではどのくらい金利がかかるか？

A:金利は貸与終了時点の利率が返済終了まで続く「利率固定方式」と、5年ごとに市場金利に合わせて見直す「利率見直し方式」から選択。利率は年3%が上限で23年3月の固定方式の利率は0.905%、見直し方式は0.300%。

Q：実際の返済額はいくら？

A：月5万の貸与を4年間受けた場合、返済期間は15年で毎月1万4322円（3月の利率）、第一種では1万3333円。第二種の上限の月12万円だと2万6352円で20年かけて返済となる。

*貸与額返済計画はJASSOのサイトで試算できます。

卒業後（就職してからの生活）のことをよく考えて返済期間や金額を確認して貸与額を決めたほうがいいです。

*お金の話は非常に重要ですからしっかりとご家族と進学先の情報を共有しておきましょう。